

## インフォシス、Ethisphere の 2022 年「世界で最も倫理的な企業」に 2 年連続で選出

最高の倫理慣行、コンプライアンスおよびガバナンスの実践を通じ、並外れたリーダーシップと決意で  
ビジネスの誠実性を体現した企業に贈られる栄誉

バンガロール（インド） – 2022 年 3 月 21 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) は本日、企業倫理慣行の基準の定義と推進で世界をリードする [Ethisphere Institute](#) の「[2022 年の世界で最も倫理的な企業 \(2022 World's Most Ethical Companies\)](#)」に 2 年連続で選ばれたことを発表しました。インフォシスはインドで唯一の受賞企業となり、世界のソフトウェア・サービス企業で選ばれた 4 社に入りました。

2022 年は 22 カ国 45 の産業から 136 社が受賞しました。評価は Ethisphere の Ethics Quotient<sup>®</sup>（倫理指数）の複数のカテゴリに基づいて行われ、評価項目には文化や環境、社会的慣行、倫理およびコンプライアンス、ガバナンス、多様性、優れたバリューチェーンをサポートするイニシアチブが含まれています。

**Ethisphere の Timothy Erblich 最高経営責任者（CEO）** は「前向きな変化を促す倫理観、説明責任能力、信頼性を備えていることは今や企業経営者の最大の義務です」としたうえで、「『世界で最も倫理的な企業』の受賞企業と、これらの企業の誠実さ、持続可能性、ガバナンス、コミュニティへの献身に絶えず刺激を受けています。インフォシスの『世界で最も倫理的な企業』の受賞を祝福いたします」と述べました。

**インフォシスの CEO 兼 マネージングディレクターの Salil Parekh** は次のように述べています。「当社は倫理的であることを全ての行動の中心に据え、中心的価値観としており、その上に長年の成功を築いてきました。誉れ高い Ethisphere Institute からこのような高い評価を受けられたことは光栄です。2 年連続の受賞は、当社が倫理慣行において卓越して

いる証であり、当社の C-LIFE バリューにも明記してある通り、最大限の誠実さと透明性をもって業務に臨む決意の表れです。」

「2022 年の世界で最も倫理的な企業」の詳細は以下をご参照ください。

<https://worldsmoethicalcompanies.com/honorees>

### スコア算出手法について

「2022 年の世界で最も倫理的な企業（2022 World's Most Ethical Companies）」の評価は Ethisphere 独自の Ethics Quotient<sup>®</sup>（倫理指数）に基づいています。評価プロセスには社風や環境、社会的慣行、倫理、コンプライアンス活動、ガバナンス、多様性、優れたバリューチェーンをサポートするイニシアチブに関する 200 項目以上の質問が含まれており、これを評価の軸に、あらゆる業界や世界の国々をリードする企業慣行を把握し、体系化しています。

### Ethisphere について

Ethisphere<sup>®</sup> は社風や市場での信頼、事業の成功を促進する企業倫理慣行の基準の定義と推進で世界をリードしています。Ethisphere はコアな倫理基準の測定と定義のための高い専門技術を持ち合わせています。これには企業体質の強化、社風の評価や改善に役立つ大量のデータに基づいたインサイトを用いています。Ethisphere は優れた企業慣行を「世界で最も倫理的な企業」認定プログラムにより称えており、業界の専門家コミュニティには Business Ethics Leadership Alliance（BELA）を授けています。

Ethisphere の詳細については下記リンク先をご参照ください: <https://ethisphere.com>.

### インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス（NSE, BSE, NYSE: INFY）が次のステージへと進む企業を支援する方法については、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) をご覧ください。

### セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシス 日本支店 マーケティング本部長

安藤 : [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)